



## 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE\_Sapporo2021v1.0 使用評価ソフト: CASBEE札幌2021 (ver.1.0)

1-1 建物概要				1-2 外観
建物名称	(仮称)厚別南・青葉地区義務教育学校新築ほか工事	階数	地上4F、地下1F	
建設地	札幌市厚別区厚別南7丁目816-3、816-5、816-343、816-345、820-108、820-109	構造	RC造	
建物用途	学校	平均居住人員	900人	
竣工年	2028年2月 予定	年間使用時間	2,920時間/年(想定値)	
敷地面積	16,495㎡	評価の段階	実施設計段階評価	
建築面積	3,285㎡	評価の実施日	2026年2月19日	
延床面積	5,316㎡	作成者		
		確認日		
		確認者		

### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.2** ★★★★★☆ **B+**

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

### 2-2 建築環境SDGsチェックリスト評価結果

\* SDG1,2,10,14,16は他のゴールに集約されています

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 一次エネルギー消費量の評価

建物全体の[BEI][BEIm] **0.62**  
ZEB/ZEH-Mランク **非該当**

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q 環境品質** **Qのスコア = 2.7**

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.9

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.8

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.5

**LR 環境負荷低減性** **LRのスコア = 3.5**

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.2

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.0

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.2

3 設計上の配慮事項			
<b>総合</b> ・既存校舎、屋内運動場との調和を図り、一体的な学校を表現している。 ・地域に親しみやすい外観としている。 ・省エネルギー性能に配慮している。		<b>A 省エネルギー</b> ・BPI=0.76。 ・BEI=0.62。	
<b>B 省資源等</b> ・屋外露出ダクトにはステンレス製を採用している。 ・配管材料は給水・給湯(SUS)、Eは不使用。 ・LGS下地に加え、可動間仕切りを採用している。 ・ノンフロン断熱材を採用している。	<b>C 緑化</b> 0	<b>D 雪処理</b> 0	
<b>4 ほかの認証・評価制度の利用</b> (一財)住宅・建築SDGs推進センターのCASBEE認証 なし BELS認証 なし LEED認証 なし 上記以外の認証・評価制度の利用 -			

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■環境品質Q=25×(Qのスコア-1)、環境負荷L=25×(5-LRのスコア)より算出

スコアシート		実施設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体	
配慮項目	重点評価項目	環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み係数	評価点	重み係数		
<b>Q 建築物の環境品質</b>									
<b>Q1 室内環境</b>									
<b>1 音環境</b>									
1.1 室内騒音レベル		-		3.0	0.40		-	2.6	
1.2 遮音				3.0	0.40		-		
1	開口部遮音性能	-		3.0	0.30		-		
2	界壁遮音性能	-		3.0	0.30		-		
3	界床遮音性能(軽量衝撃源)	-		3.0	0.20		-		
4	界床遮音性能(重量衝撃源)	-		3.0	0.20		-		
1.3 吸音		-		1.0	0.20		-		
<b>2 温熱環境</b>									
2.1 室温制御				3.0	0.50		-		2.6
1	室温	-		3.0	0.60		-		
2	外皮性能	省エネ		3.0	0.40		-		
3	ゾーン別制御性	-			-		-		
2.2 湿度制御		-		1.0	0.20		-		
2.3 空調方式		-		3.0	0.30		-		
<b>3 光・視環境</b>									
3.1 昼光利用				4.2	0.30		-	2.7	
1	昼光率	2階普通教室5-3.41%		5.0	0.60		-		
2	方位別開口	-			-		-		
3	昼光利用設備	省エネ		3.0	0.40		-		
3.2 グレア対策				1.0	0.30		-		
1	昼光制御	省エネ		1.0	1.00		-		
3.3 照度		-		3.0	0.15		-		
3.4 照明制御		-		3.0	0.25		-		
<b>4 空気質環境</b>									
4.1 発生源対策				4.0	0.50		-		3.8
1	化学汚染物質	内装仕上はF☆☆☆☆(天井裏共)とし、ホルムアルデヒドを発生する恐れのある建築材料を使用しない		4.0	1.00		-		
4.2 換気				3.3	0.30		-		
1	換気量	-		3.0	0.33		-		
2	自然換気性能	自然換気有効開口面積が居室床面積の1/15以上		4.0	0.33		-		

	3	取り入れ外気への配慮		—	3.0	0.33		-	
4.3		運用管理			4.0	0.20		-	
	1	CO <sub>2</sub> の監視		—	3.0	0.50		-	
	2	喫煙の制御		敷地内喫煙室設置無し、全館禁煙としている	5.0	0.50		-	
<b>Q2 サービス性能</b>						0.30	-	-	2.8
<b>1 機能性</b>					2.2	0.40		-	2.2
1.1 機能性・使いやすさ					1.0	0.40		-	
	1	広さ・収納性		—		-		-	
	2	高度情報通信設備対応		—		-		-	
	3	バリアフリー計画		—	1.0	1.00		-	
1.2 心理性・快適性					3.0	0.30		-	
	1	広さ感・景観		—	3.0	0.50		-	
	2	リフレッシュスペース		—		-		-	
	3	内装計画		—	3.0	0.50	1.0	-	
1.3 維持管理					3.0	0.30		-	
	1	維持管理に配慮した設計		—	3.0	0.50		-	
	2	維持管理用機能の確保		—	3.0	0.50		-	
<b>2 耐用性・信頼性</b>					3.0	0.30		-	3.0
2.1 耐震・免震・制震・制振					3.0	0.50		-	
	1	耐震性(建物のこわれにくさ)		—	3.0	0.80		-	
	2	免震・制震・制振性能		—	3.0	0.20		-	
2.2 部品・部材の耐用年数					3.1	0.30		-	
	1	躯体材料の耐用年数		—	3.0	0.20		-	
	2	外壁仕上げ材の補修必要間隔	省資源	—	2.0	0.20		-	
	3	主要内装仕上げ材の更新必要間隔	省資源	—	3.0	0.10		-	
	4	空調換気ダクトの更新必要間隔	省資源	屋外露出にはステンレス製を採用している	4.0	0.10		-	
	5	空調・給排水配管の更新必要間隔	省資源	給水・給湯(SUS)、Eは不使用	4.0	0.20		-	
	6	主要設備機器の更新必要間隔	省資源	—	3.0	0.20		-	
2.4 信頼性					3.0	0.20		-	
	1	空調・換気設備		—	3.0	0.20		-	
	2	給排水・衛生設備		—	3.0	0.20		-	
	3	電気設備		—	3.0	0.20		-	
	4	機械・配管支持方法		—	3.0	0.20		-	
	5	通信・情報設備		—	3.0	0.20		-	
<b>3 対応性・更新性</b>					3.4	0.30		-	3.4
3.1 空間のゆとり					4.0	0.30		-	

	1	階高のゆとり		階高3.7m	4.0	0.60		-	
	2	空間の形状・自由さ		壁長さ比率:0.1以上0.3未満	4.0	0.40		-	
	3.2 荷重のゆとり			-	3.0	0.30		-	
	3.3 設備の更新性				3.4	0.40		-	
	1	空調配管の更新性		-	3.0	0.20		-	
	2	給排水管の更新性		-	3.0	0.20		-	
	3	電気配線の更新性		ケーブルラック配線を採用	5.0	0.10		-	
	4	通信配線の更新性		ケーブルラック配線を採用	5.0	0.10		-	
	5	設備機器の更新性		-	3.0	0.20		-	
	6	バックアップスペースの確保		-	3.0	0.20		-	
<b>Q3 室外環境(敷地内)</b>					-	0.30		-	2.5
1	生物環境の保全と創出		緑化	-	2.0	0.30		-	2.0
2	まちなみ・景観への配慮		緑化	-	3.0	0.40		-	3.0
3	地域性・アメニティへの配慮				2.5	0.30		-	2.5
	3.1	地域性への配慮、快適性の向上	雪処理	-	3.0	0.50		-	
	3.2	敷地内温熱環境の向上	省資源 緑化	-	2.0	0.50		-	
<b>LR 建築物の環境負荷低減性</b>									3.5
<b>LR1 エネルギー</b>						0.40			4.2
1	建物外皮の熱負荷抑制		省エネ	BPI= 0.76 品確法= BPI=0.76	5.0	0.20		-	5.0
2	自然エネルギー利用		省エネ	-	2.0	0.10		-	2.0
3	設備システムの高効率化		省エネ	BEI= 0.62 BEI=0.62	4.8	0.50		-	4.8
4	効率的運用				3.0	0.20		-	3.0
	集合住宅以外の評価				3.0	1.00		-	
	4.1	モニタリング	省エネ	-	3.0	0.50		-	
	4.2	運用管理体制	省エネ	-	3.0	0.50		-	
	集合住宅の評価								
	4.1	モニタリング	省エネ	-					
	4.2	運用管理体制	省エネ	-					
<b>LR2 資源・マテリアル</b>						0.30			3.0
1	水資源保護				3.0	0.20		-	3.0
	1.1	節水		-	3.0	0.40		-	
	1.2 雨水利用・雑排水等の利用				3.0	0.60		-	
	1	雨水利用システム導入の有無		-	3.0	0.70		-	
	2	雑排水等利用システム導入の有無		-	3.0	0.30		-	
2	非再生性資源の使用量削減				2.8	0.60		-	2.8
	2.1	材料使用量の削減	省資源	-	2.0	0.10		-	
	2.2	既存建築躯体等の継続使用	省資源	-	3.0	0.20		-	
	2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	省資源	-	3.0	0.20		-	
	2.4	躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	省資源	-	1.0	0.20		-	
	2.5	持続可能な森林から産出された木材	省資源	-	2.0	0.10		-	

	2.6 部材の再利用可能性向上への取組み	省資源	LGS下地に加え、可動間仕切を採用している	5.0	0.20	-	
3	汚染物質含有材料の使用回避			3.6	0.20	-	3.6
	3.1 有害物質を含まない材料の使用		有害物質を含まない防水工事のプライマーを採用している	4.0	0.30	-	
	3.2 フロン・ハロンの回避			3.5	0.70	-	
	1 消火剤	省資源	-	-	-	-	
	2 発泡剤(断熱材等)	省資源	ノンフロン断熱材を採用している	4.0	0.50	-	
	3 冷媒	省資源	-	3.0	0.50	-	
LR3 敷地外環境				-	0.30	-	3.2
1	地球温暖化への配慮	省資源	LCCO2排出率=78%	3.8	0.33	-	3.8
2	地域環境への配慮			2.9	0.33	-	2.9
	2.1 大気汚染防止	省資源	-	3.0	0.25	-	
	2.2 温熱環境悪化の改善	省資源 緑化 雪処理	-	3.0	0.50	-	
	2.3 地域インフラへの負荷抑制			2.7	0.25	-	
	1 雨水排水負荷低減	省資源	-	3.0	0.25	-	
	2 汚水処理負荷抑制		-	3.0	0.25	-	
	3 交通負荷抑制		-	3.0	0.25	-	
	4 廃棄物処理負荷抑制	省資源 雪処理	-	2.0	0.25	-	
3	周辺環境への配慮			3.0	0.33	-	3.0
	3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40	-	
	1 騒音		-	3.0	1.00	-	
	2 振動		-	-	-	-	
	3 悪臭		-	-	-	-	
	3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制			3.0	0.40	-	
	1 風害の抑制		-	3.0	0.60	-	
	2 砂塵の抑制		-	3.0	0.20	-	
	3 日照障害の抑制		-	3.0	0.20	-	
	3.3 光害の抑制			3.0	0.20	-	
	1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		-	3.0	0.70	-	
	2 屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		-	3.0	0.30	-	



■使用評価マニュアル: CASBEE\_Sapporo2021v1.0

■使用評価ソフト: CASBEE札幌2021 (ver.1.0)

1 建物概要					
建物名称	(仮称)厚別南・青葉地区義務教育学校新築ほか工事	BEE	1.2	BEEランク	B+
建物用途	学校				
延床面積	5,315.6 m <sup>2</sup>				

2 重点項目への取り組み		レーダーチャート
地球温暖化対策	最重点項目 省エネルギー	<p>★1=スコア(最低点~最高点)20%以下 ★2=スコア(最低点~最高点)20%~40%以下 ★3=スコア(最低点~最高点)40%~60%以下 ★4=スコア(最低点~最高点)60%~80%以下 ★5=スコア(最低点~最高点)80%以上</p>
	省資源等	
	緑化	
	雪処理	

3. 重点項目のCASBEEスコア						
<b>A 省エネルギー</b> ( 最高点 23.5 最低点 6.6 )				<b>合計</b>	<b>18.3点</b> /23.5点	
Q1 温熱環境	スコア	0.8	/1.4	LR1 建物外皮の熱負荷抑制	スコア	4.0 /4.0
Q1 光・視環境	スコア	0.7	/2.1	LR1 自然エネルギー利用	スコア	0.8 /2.0
				LR1 設備システムの高効率化	スコア	9.6 /10.0
				LR1 効率的運用	スコア	2.4 /4.0
<b>B 省資源等</b> ( 最高点 23.7 最低点 7.7 )				<b>合計</b>	<b>14.5点</b> /23.7点	
Q2 耐用性・信頼性	スコア	0.7	/1.1	LR2 非再生性資源の使用量削減	スコア	5.0 /9.0
Q3 地域性・アメニティへの配慮	スコア	0.9	/2.3	LR2 汚染物質含有材料の使用回避	スコア	1.5 /1.9
				LR3 地球温暖化への配慮	スコア	3.8 /5.0
				LR3 地域環境への配慮	スコア	2.6 /4.4
<b>C 緑化</b> ( 最高点 15.3 最低点 3.1 )				<b>合計</b>	<b>7.8点</b> /15.3点	
Q3 生物環境の保全と創出	スコア	1.8	/4.5	LR3 地域環境への配慮	スコア	1.5 /2.5
Q3 まちなみ・景観への配慮	スコア	3.6	/6.0			
Q3 地域性・アメニティへの配慮	スコア	0.9	/2.3			
<b>D 雪処理</b> ( 最高点 3.0 最低点 0 )				<b>合計</b>	<b>0.0点</b> /3.0点	
Q3 地域性・アメニティへの配慮	スコア	0.0	/1.0	LR3 地域環境への配慮	スコア	0.0 /2.0

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと

■重点項目の最高点は、各評価項目でレベル5で評価された場合の点数

■重点項目の最低点は、各評価項目でレベル1で評価された場合の点数